

遺伝子診療センター

● スタッフ（2022年10月1日現在）

センター長 稲垣 夏子
 専任医師 1名
 協力医師 10名
 認定遺伝カウンセラー 3名

● 特徴・特殊性

近年、多くの診療科で、遺伝情報を利用した医療の需要が高まっています。「遺伝子診療センター」では、専門領域の各診療科と連携をとりながら、遺伝に関する悩みや不安をもたれる患者さんやご家族の状況に合わせた包括的な遺伝医療を提供しています。

また、当院はがんゲノム医療連携病院、NIPT（出生前検査認証制度等運営委員会認証）基幹施設の指定を受けており、がんゲノムプロファイリング検査、NIPTにも対応しております。

● アピールポイント

各領域の専門の医師、認定遺伝カウンセラーが連携した中での丁寧な遺伝カウンセリング、包括的支援体制が整っています。

中でも、循環器疾患（心筋症、遺伝性不整脈）に対応する循環器遺伝外来、マルファン症候群、ロイス・ディーツ症候群などの遺伝性結合織疾患に対応する結合織外来、遺伝性の血液凝固異常症に対応した血液凝固異常症遺伝相談外来は、それぞれの専門領域の専門医と臨床遺伝専門医が一緒に対応を行わせていただいております。

1) 主な診療内容

- ①成人期発症の遺伝性疾患の診断、遺伝カウンセリング
- ②小児領域の先天性疾患の診断、遺伝カウンセリング、トランジション
- ③専門外来（結合織外来・結節性硬化症外来・循環器遺伝外来・血液凝固異常症遺伝相談外来）
- ④難聴遺伝外来
- ⑤遺伝性腫瘍の診断、遺伝カウンセリング
- ⑥がんゲノム医療

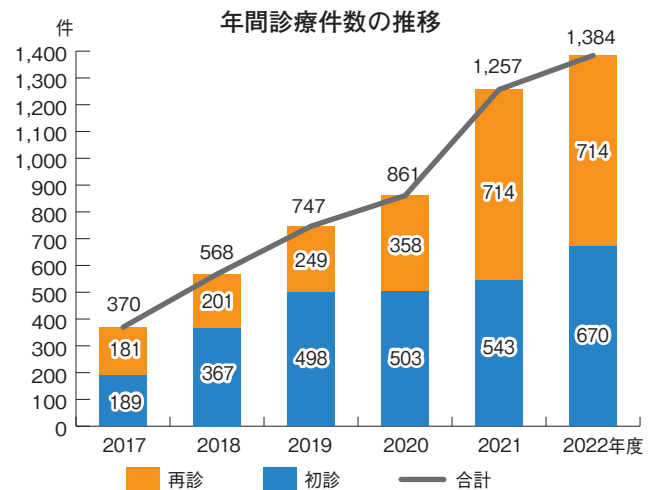
2) 遺伝学的検査

保険収載されている疾患関連の遺伝学的検査は、当センターを通してほぼ全て行えるようになっています。自費検査であるNIPT（無侵襲的出生前遺伝学的検査）、遺伝性腫瘍などの遺伝子検査システムも整っており、院内施設におけるエクソーム解析システムの構築（TMU decision）を分子病理学分野と合同で行い導入しています。

3) 専門外来

現在、「循環器遺伝」、「遺伝性結合織疾患」、「結節性硬化症」に関しては遺伝カウンセリングのみならず、そ

の後のフォローアップも含め、関連診療科と定期的なミーティングを行うことで包括的な診療を提供しています。



2022年疾患別割合

